文部科学省検定済教科書

|  |  |
| --- | --- |
| ９ | 開隆堂 |
| 論Ⅰ 009-901 |

令和8年度～　高等学校外国語科「論理・表現Ⅰ」

**Revised Amity English Logic and ExpressionⅠ**

**教科書調査研究の観点**

本資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って、配布を許可されているものです。

**［観点の要約］**

中学校の学習内容の定着に焦点が置かれており、基礎固めができる教科書である。紙面構成にはゆとりがあり、生徒にとって身近な登場人物や豊富なイラストにより、英語に苦手意識のある生徒でも抵抗なく授業に取り組めることが期待できる。言語活動についても、生徒に馴染みのある話題で無理なく行えるように配慮されている。通常課は1見開きで完結するため、スタートからゴールまで指導や学習に見通しを持ちやすい構成である。

**［内容］**

●扱う言語材料のほとんどは中学校既習事項の定着に焦点が置かれており、基礎的・基本的な文法事項が無理なく復習と基礎固めができるように配慮されている。

●本文対話(DIALOG)では、さまざまなトピックが扱われており、興味・関心を持って学習できるよう配慮されている。

●ターゲットとなる言語材料はFOCUSにある例文と解説を通して理解し、EXERCISESの練習問題で定着できる。EXERCISES③はイラスト内容を英文に書き起こす活動となっており、表現力の基礎を養うことができるように工夫されている。

●課末(各見開き最終コーナー)のPERFORMで自己表現活動を積み重ね、着実に発信力を伸長できる構成となっている。

●各レッスンで学んだ言語材料は巻末の「文法のまとめ」で復習することができ、隣ページのActivity Plusではそれらを活用した自己表現活動を行うことができるように工夫されている。。

**［組織・配列と分量］**

●レッスン数は20で、１レッスン2時間での指導が想定されており、1年を通して余裕をもって指導できるよう配慮されている。

●通常課は、1見開き2ページで完結するため、学習や授業の見通しが立てやすくなっている。

●本文対話(DIALOG)の英文は短く、生徒の負担になりにくい分量に抑えられている。

●自己表現活動を行うAction!が2～5レッスンごとに設けられており、発信力を育成することができる。

●Scene, Break Timeがそれぞれ4か所に設けられており、実用的な会話やゲーム感覚で英語の知識を増やすことができる。

**［表現と表記］**

●本文対話(DIALOG)には一貫したキャラクターが用いられており、学習意欲を高められるよう配慮されている。

●本文対話(DIALOG)の日本語訳が巻末に掲載されており、 内容の理解でつまずかないように配慮されている。

●書き込み欄を多く設けてあり、教科書1冊で学習を完結することができる。

●指導書にはワークシートや評価資料が充実しており、指導しやすい教科書である。